

理科学会報

行 部 局 案
学 研究所
川市幸町948。
印 刊務
成田市成田

理科作品展

講演会

科学工夫の部

主司者：石井 哲

も充実した作品が多くなり、理科

工作の部門は低調といつて傾向があ

る。各部会展から選出された作品、

学生別の内訳をみると

一年生 十一点、二年生 十九点

三年生 九点、四年生 十二点

五年生 七点、六年生 十二点

中学校一年生 二点、二年生 二点

あり、小学校四年生が少なか

いのが目立つた。

中学校などは、興味の幅が中

どした作品が多くなり、大作があ

りに多くな、たまに研究的ある。

科類別に見ると、論文の本

もののが多かった。たまに、

小学校の回路図や日本文化作品

あ、と。

筆記式に掲載された作品でも

ひじかわは、自分が工夫したとい

う点があると良いと思つ。

教師の指導が加われば、良い

ものが「わかる」にね、ため

るだけに、安価で手軽で十分お頼りした。

具体的理由が教員なものよりも少くから

む詰められた。

筆記式は、筆記式の筆記式の

問題と観察報告の内容、自由が一

本一点、運算の結果一点である。

最後に、採集には態度がつきものであ

るだけに、安価で手軽で十分お頼りした。

具体的に標本の作成に難点が多

いものがあ、と、標本の作成技術

をもあ、た。児童・生徒が作、

自作販賣、参考作品として展示

するところに、たゞ、印西市立水

浦川幼稚園の河辺のり子先生の作品

おり、その後の指導課題である。

おり、その翌年にも身軽多用の

便向が強く、一歩お進むる、販賣

せ、有りは、販賣でわかるが、自分

作成していかが、積み上げがも

う少し飛りなに面もみつけた。

中学生は、たゞがに採集物をし

ま、こ、羊齒植物、いわ科の植物

集物の種類がそぞろ物とな、こし

かう感じがする。

<p